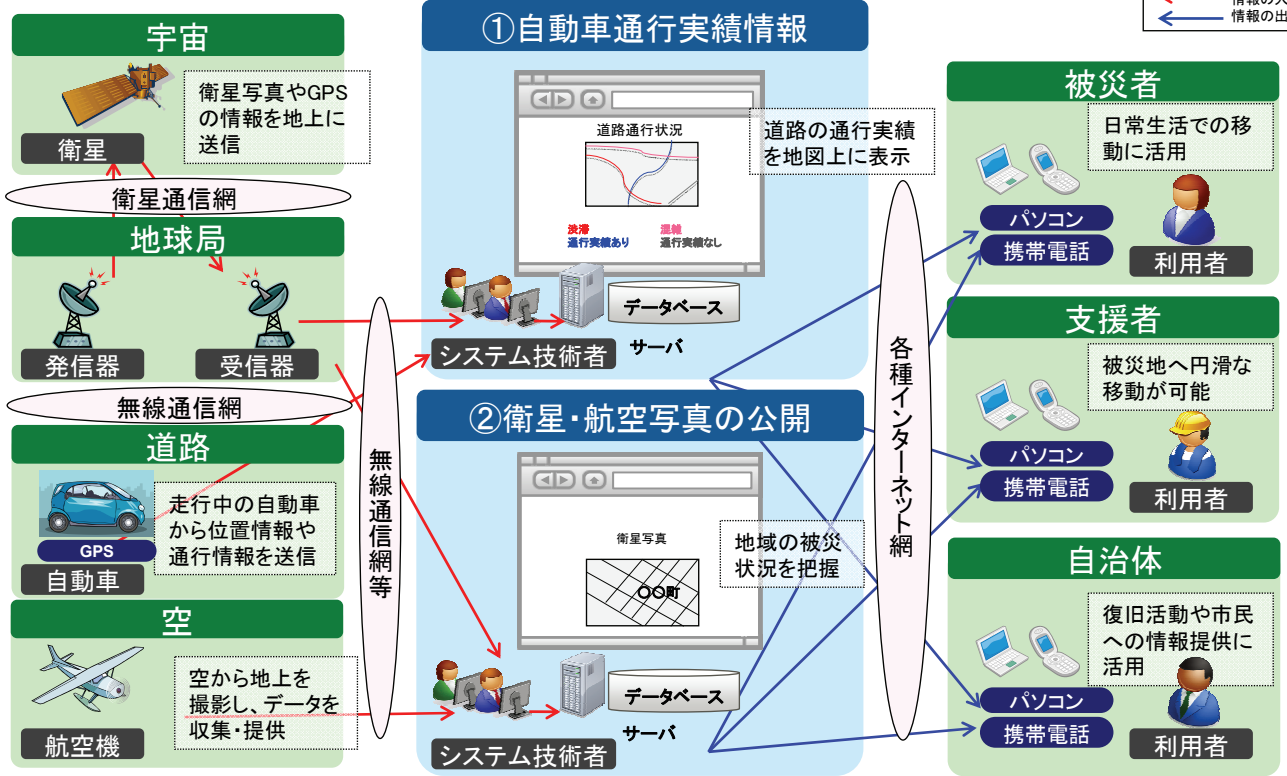
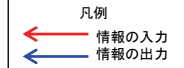


# 事例7 道路状況等の最新情報の収集・提供

自動車通行実績情報

衛星・航空写真の公開

## 公共インフラの状況等の情報を収集・提供するシステム



※①②はそれぞれ別の異なるサービスです

### 解説

#### 1) 背景・ニーズ

大規模災害によって交通網が打撃を受けると、物資の配給やボランティア活動等に大きな支障をきたします。

特に、被害が広範囲に及ぶ場合は、各地の被災状況を把握するのに多大な労力がかかります。支援活動や復旧活動をスムーズに行うため、被災状況を効率的に把握することが求められます。

#### 2) 事例の概要

- 自動車に搭載されたGPSから、無線通信網等を介して通行情報が自動的に収集されます。収集されたデータはWeb上の地図と連動し、前日に通行された道路が一目で分かるよう表示されます。
- 「自動車通行実績情報」(特定非営利活動法人ITS Japan)では、民間企業4社が持つ通行実績情報の提供を受け、前日の通行実績をWeb上に公開しました。これらは、被災地への物流ルートを検討する際の参考情報として活用されました。
- 「Googleマップ」「Mapion」などの地図サービスや国土地理院では、東日本大震災発生後の被災地の衛星・航空写真が提供・公開されました。これらは、特に津波によって広い範囲にわたって被害を受けた沿岸部の被害状況を把握するために活用されました。

### 事例のメリット

#### ○情報が随時更新される

「自動車通行実績情報」では、多数の車両から収集された通行実績が随時反映されるため、より正確な情報を得ることができます。

#### ○情報の共有が容易にできる

被災地の衛星・航空写真サービスでは、国道や都道府県道といった道路の管理主体に関係なく情報を収集できるため、広い範囲の情報を知ることができます。

#### 活用に向けた留意点

表示されるのは前日の通行実績ですが、道路の危険性や詳細な状況までを示すものではないため、十分に安全を確認しながら通行する必要があります。